

田園都市線駒沢大学駅東口ビル、相鉄・東急新横浜線新横浜駅待合室
第68回鉄道建築協会賞作品部門を受賞しました！

今般、一般社団法人鉄道建築協会による第68回鉄道建築協会賞の作品部門で、田園都市線駒沢大学駅東口ビルが「佳作」、相鉄・東急新横浜線新横浜駅待合室が「推薦」を受賞しました。

鉄道建築協会賞は、一般社団法人鉄道建築協会が、鉄道建築におけるデザインおよび技術の向上に貢献したと認められる建築作品などを表彰するものです。第68回鉄道建築協会賞では、全国の鉄道事業者から応募された全40作品の中から選ばれました。

田園都市線駒沢大学駅東口ビル「佳作」

駒沢大学駅東口ビルは、当社が推進している田園都市線地下区間5駅（池尻大橋駅・三軒茶屋駅・駒沢大学駅・桜新町駅・用賀駅）のリニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND」の第1弾である駒沢大学駅リニューアルの一部として、リニューアルを実施し先行して開業しました。

リニューアルにあたっては、1977年の開業から40年以上が経過した東口ビルの耐震補強だけでなく、コロナにより大きく変化した駅と駅ビルテナントへのニーズに対応すべく、駅とテナントのドトールコーヒーショップが一体となりリニューアルのビジョンやグランドデザインを策定し、新たな駅の在り方を目指しました。また、建替えではなく既存建物を再生するとともに、多摩産材や鉄道廃材（えきもく・旧玉川線の敷石）を活用するなど、誰もが無意識に環境活動に参画できる駅づくりを行いました。

駒沢大学駅東口ビルの受賞は、駅とテナントのドトールコーヒーショップが一体となり、これからの駅とカフェの可能性を探ることで実現したものです。テナント側が被る耐震補強による機会損失を価値あるリニューアルでリカバーし、相互にメリットのあるリニューアルとなったことが評価されました。



▲東口ビル外観



▲出入口天井（多摩産材）



▲ドトールコーヒーショップ内装

相鉄・東急新横浜線新横浜駅待合室「推薦」

相鉄・東急新横浜線新横浜駅待合室の受賞は、東海旅客鉄道株式会社（以下、JR東海）、相模鉄道株式会社（以下、相鉄）、当社の3社が連携し、待合室の機能に加え、情報発信機能などを備えている点が評価されました。

本待合室は、2023年3月18日（土）に開業した相鉄・東急新横浜線新横浜駅において、相鉄線沿線、東急線沿線、および中部関西方面の人々の暮らしが交わる「交流拠点」となることを目指してつくられました。壁面などの内装材に相鉄グループの「デザインブランドアッププロジェクト」でキーマテリアルとして使用しているレンガ、当社の駅舎の廃木材「えきもく」、JR東海の「東海道新幹線再生アルミ」など各社の歴史を象徴する素材を用いています。またJR東海、相鉄、当社の連携のもと、沿線、直通先などの広域的な地域情報を発信するサイネージ、AIカフェロボット「root C（ルートシー）」の設置などにより、新しい体験の場を創出しています。

内装デザインは、地元ゆかりのあるデザイナーであるトラフ建築設計事務所の監修のもと「～歴史が交わり発展する街の風景～」をコンセプトとして、レンガ（相鉄）、えきもく（当社）、アルミ（JR東海）の3つのマテリアルを歴史のピースと捉えて、それらがパズルのように組み合わせることで作られていく「街の風景」を表現しました。



▲待合室外観



▲待合室内観①



▲待合室内観②

詳細は、別紙の通りです。

【別紙】

■田園都市線駒沢大学駅東口ビル

・概要

所在地：東京都世田谷区上馬3-18-12

構造・階数：RC造地下2階、地上4階建

工事内容：耐震補強工事、補修工事、外壁・天井改修工事 他

設計者：株式会社交建設計、UDS株式会社

施工者：東鉄工業株式会社

店舗：ドトールコーヒーショップ

・田園都市線地下区間5駅リニューアルプロジェクト「Green UNDER GROUND」

田園都市線の路線カラーでもある「Green」には、「快適・安心」、「スムーズ」、「クリーン・サステナブル」、「親しみが生まれる」、「新しさがある」など、さまざまな想いが込められています。1977年の開業から40年以上が経過した田園都市線地下区間5駅（池尻大橋駅・三軒茶屋駅・駒沢大学駅・桜新町駅・用賀駅）は、今まで以上に安心・安全・快適・便利で「サステナブルな地下駅」へと生まれ変わります。

Green UNDER GROUND HP：<https://ii.tokyu.co.jp/grows/gug>



▲Green UNDER GROUND ログマーク



▲リニューアル対象5駅

・駒沢大学駅リニューアルコンセプト「UNDER THE PARK」

地域の憩いの場である都立駒沢オリンピック公園の最寄り駅として公園に生えている木々のように駅全体を1本の木に見立て、駅の中は根っこ、地上出入口は地下から伸びる木の幹や繁る葉をイメージし、連続性のあるデザインを目指しています。

東口ビルを含む駒沢大学駅地上出入口3棟の駅ビルは駅とまちを繋ぐゲートとして、駅へ入るときは「UNDER THE PARK」へと足を踏み入れたくなるようなワクワク感を、駅から出るときは明るく開放感を感じられる場所になれるようなデザインとしています。

地上 まちのシンボルとなる葉



地下 まちの魅力を吸収し、育む
人々が集まるまちの根っこ

▲駒沢大学駅のデザインの考え方

・多摩産材

東京都内の多摩地域で生育し、生産された木材を「多摩産材」と呼びます。地場の多摩産材を活用することは、水源のかん養や災害の防止、二酸化炭素の吸収などの森林の多面的な機能を発揮するとともに、東京における持続的な森林整備と林業振興にも繋がります。

駒沢大学駅東口ビルでは駅の出入口およびテナントのエントランスの天井に多摩産材を使用しており、木材が吸収している二酸化炭素約1.088トンを固定化することができ、大気中の二酸化炭素増加を抑制することに寄与しています。



▲「多摩産材」ロゴマーク



▲「多摩産材」イメージ

・廃材の活用

駒沢大学駅東口ビルでは、木造旧駅舎の廃材を活用したベンチや旧玉川線の敷石として保管されていた廃材を活用した階段をドールコーヒーショップ店内に使用するなど、環境負荷低減に取り組んでいます。



▲エントランスベンチ



▲店内の階段

■相鉄・東急新横浜線新横浜駅待合室

・概要

所在地: 神奈川県横浜市港北区新横浜2-100-1

区画面積: 29.9㎡

工事内容: 内装工事 他

設計者: 株式会社トラフ建築設計事務所

施工者: 株式会社白水社

・相鉄デザインブランドアッププロジェクト

相鉄グループ創立100周年(2017年12月18日)と都心への相互直通運転(2019年11月30日に相鉄・JR直通線開業、2023年3月18日に相鉄・東急直通線開業)に向け、2015年11月に本格始動した取り組み。お客さまとの最大の接点となる鉄道の駅舎や車両、制服などを統一したデザインコンセプトに基づきリニューアルを進め、認知度や好感度を高めることで「選ばれる沿線」の実現を目指しています。「これまでの100年を礎に、これからの100年を創るThinking of the next century.」をコンセプトに、目先のトレンドに左右されない「古くならない、醸成するデザイン」と「普遍的な色・素材」を採用。駅舎のデザインにおいては、その素材として、「レンガ」「鉄」「ガラス」というキーマテリアルを設定し、順次各駅をリニューアルしていきます。

・みんなのえきもくプロジェクト(当社)

東急電鉄池上線旗の台駅・池上駅改良工事で発生した古材「えきもく」を駅および沿線で活用していくプロジェクトです。さまざまな場所でえきもくを活用し、歴史ある木造駅の記憶を未来に継承することや、工事に伴う環境負荷低減(廃材処理時のCO2削減)に寄与しています。

・東海道新幹線再生アルミ

JR東海グループでは、東海道新幹線の車両に使用していたアルミをマテリアルリサイクル(廃棄物などを原材料として再利用)する「東海道新幹線再生アルミ」を活用して、環境負荷の低減に取り組んでいます。この東海道新幹線再生アルミは、製造する際のCO2排出量を、通常のアルミを新製する場合に比べて97%削減できるという特長があります。

・内装デザイン「トラフ建築設計事務所」

鈴野浩一氏と禿真哉氏により2004年に設立。建築の設計をはじめ、ショップのインテリアデザイン、展覧会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションやムービー制作への参加など多岐に渡り、建築的な思想をベースに取り組んでいます。(http://www.torafu.com/)



▲鈴野 浩一氏

▲禿 真哉氏

▲空気の器

▲公園を臨む家

(product/2010.01)

(house/2022.10)

写真: 富田里美

写真: 阿野太一

・グラフィックデザイン「高い山株式会社(TAKAIYAMA inc.)」

広告、ブランドデザイン、書籍、建築サインなど、平面から空間まで、グラフィックデザインを軸に活動。(<http://takaiyama.jp/>)



▲TOKYOBike TOKYO



▲JINS PARK



▲鹿猿狐ビルディング

・AIカフェロボット「root C(ルートシー)」

～淹れたてのスペシャルティコーヒーをアプリで注文、すばやく受け取り～

「root C」はアプリで時間と受け取り場所を指定し、完全無人・非接触でスペシャルティコーヒーを受け取ることができるAIカフェロボットです。ユーザーは「root C」の前で待つことなく、移動中に注文も可能。パーソナライズ診断root C MATCHtmを利用して、ライフスタイルや嗜好に合わせたコーヒーをご提案します。単品購入の他、サブスクリプション(月額定額制)でご購入できます。2021年グッドデザイン賞受賞。日経トレンディ2022年ヒット予測ランキング4位「次世代自販機」の1つとして選出。

・ワイヤレス給電『POWER SPOT®』

駅舎内では日本初となる「ワイヤレス充電スポット」は株式会社ベルデザインが提供する 50W ワイヤレス給電プラットフォームです。POWER SPOT®はワイヤレスの給電スポットを各所に設けることにより充電ケーブルを探すストレスからユーザーを開放することが可能になります。既に異業種とプロダクト(タンブラー、照明、テーブルなど)の共創を行っており、直感的な操作(左右へ回転など)が特徴となっています。設置場所もプロダクト数の拡大に応じて住環境からオフィス空間、商業施設等へ拡がりを見せています。

■「一般社団法人鉄道建築協会」

鉄道建築の計画・設計・保全に関わる技術開発、調査研究、出版、講演会、各種表彰等の活動による鉄道建築技術の発展および会員相互の交流に努めています。

・鉄道建築協会賞概要

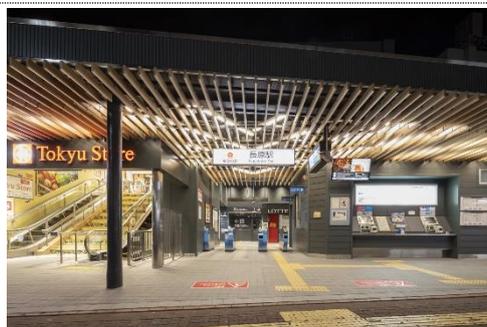
鉄道建築におけるデザインおよび技術の向上に貢献したと認められる建築作品ならびに論文業績に対し、鉄道建築協会賞を授与し、その業績を顕彰しています。

・過去の主な受賞実績（2009年～2022年）

●2022年度

池上線長原駅・東急長原駅ビル

- ・鉄道建築協会賞「佳作」



▲池上線 長原駅

●2021年度

池上線池上駅改良・駅ビル開発

- ・鉄道建築協会賞「特別賞」
- ・ウッドデザイン賞2022「入賞」
- ・ウッドシティTOKYOモデル建築賞「奨励賞」
- ・令和4年度木材利用優良施設等コンクール「優秀賞」

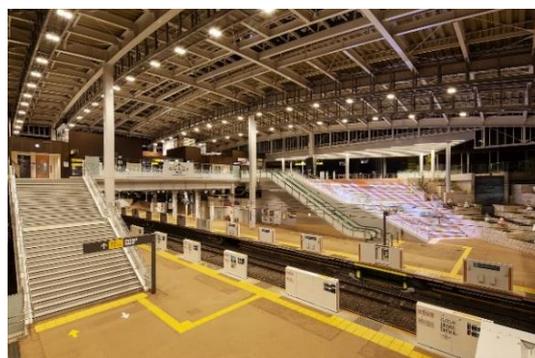


▲池上線 池上駅

●2020年度

田園都市線南町田グランベリーパーク駅改良

- ・鉄道建築協会賞「停車場建築賞」
- ・令和2年度都市景観大賞（都市空間部門）「国土交通大臣賞」
- ・第40回緑の都市賞「国土交通大臣賞」
- ・第8回プラチナ大賞「優秀賞」
- ・第1回グリーンインフラ大賞（都市空間部門）



▲田園都市線 南町田グランベリーパーク駅

「優秀賞」

池上線 旗の台駅

- ・鉄道建築協会賞 「入選」
- ・第15回 木の建築賞 「選考委員特別賞」
「メンバーズチョイス賞」
- ・ウッドデザイン賞2020「入賞(ソーシャルデザイン部門)」
- ・グッドデザイン賞2021「入賞」
- ・ウッドシティTOKYOモデル建築賞「優秀賞」



▲池上線 旗の台駅

●2017年度

池上線戸越銀座駅 木になるリニューアル

- ・鉄道建築協会賞 「特別賞」
- ・第20回木材活用コンクール「農林水産大臣賞」「木質開拓賞」
- ・2017年度木材利用優良施設コンクール「林野庁長官賞」
- ・第6回木質建築空間デザインコンテスト「一般建築部門賞」
- ・ウッドデザイン賞2016 「入賞(ソーシャルデザイン部門)」



▲池上線 戸越銀座駅

●2013年度

大井町線緑が丘駅

- ・鉄道建築協会賞 「入選」



▲大井町線 緑が丘駅

東横線武蔵小杉駅 駅ビル増築および駅改修

- ・鉄道建築協会賞 「入選」



▲東横線・目黒線 武蔵小杉駅

● 2012年度

大井町線上野毛駅

- ・ 鉄道建築協会賞 「停車場建築賞」

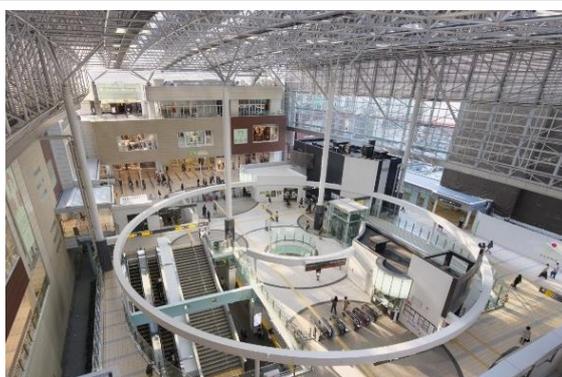


▲大井町線 上野毛駅

● 2010年度

田園都市線たまプラーザ駅

- ・ 鉄道建築協会賞 「最優秀賞」
- ・ 第9回横浜人・まち・デザイン賞 (まちなみ景観部門)



▲田園都市線 たまプラーザ

● 2009年度

東横線・東京メトロ副都心線 渋谷駅

- ・ 鉄道建築協会賞 「特別賞」



▲東横線・東京メトロ副都心線 渋谷駅